

第Ⅳ期 常設展示

2019年1月8日[火]～3月10日[日]

【おもな展示内容】

- 横山操と戦後日本画
- 関根正二と洋画
- 海外の名品
- 斎藤清の版画

館長講座 | 受講生を募集します

古典に帰れ—西洋美術の巨匠たち— ～ルネサンスからロマン派まで～

- 第6回「バロック(2) レンブラント、フェルメール」

日時：3月9日(土) 10時30分～12時

講師：早川博明(当館館長)

会場：美術館講義室(定員40名、聴講無料)

*事前の申し込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。
*各回の進行具合により内容は変更となる場合があります。

創作プログラムのご案内 | 受講生を募集します

「すきなもので自分の顔をかいてみよう!」

真っ白なキャンバスF10号(53×45.5cm)に、好きな食べ物、好きな色など、自分の好きなものをかき集めて、色々な画材で自画像を描いてみよう。新しい発見があるかもしれません!

日時＝3月3日(日) 10時30分～15時

対象＝小学生以上14名程度 *先着順

講師＝坂内直美氏(画家、女子美術大学芸術学部美術学科洋画専攻助手)

経費＝無料

申し込み締め切り…2月24日(日)

◎お申し込み・お問い合わせは…

県立美術館「創作プログラム」係 電話024-531-5511

*美術館総合受付、美術館HPでも直接お申し込みいただけます。

2-3月の開館スケジュール (○印=休館日)

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

利用案内

開館時間…9時30分～17時(最終入館は16時30分)

休館日…月曜日(祝祭日にあたる場合は開館)、

祝祭日の翌日(土日にあたる場合は開館)

館内消毒にともなう臨時休館：2019年3月11日(月)～25日(月)

観覧料…常設展：一般・大学生 270円(20名以上の団体は210円)、
高校生以下無料

企画展：展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。

*企画展料金で常設展もご覧いただけます。

常設展無料の日…こどもの日、県民の日(8/21)、敬老の日、文化の日
観覧料の減免…身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳
をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。(手帳をご提示ください)

交通案内

【JR福島駅・東口より】

●電車…
福島交通飯坂線→「美術館
図書館前駅」下車、徒歩2分

●バス…
9番乗場より福島交通バス
・市内循環もりん2コース
→「県立美術館入口」下車、
徒歩3分

●タクシー…約5分

【自家用車の場合】

●東北自動車道・福島飯坂IC
より市街地方向へ約15分



福島県立美術館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地
電話●024-531-5511 / ファックス●024-531-0447
ホームページ●<https://art-museum.fcs.ed.jp> ツイッター●@fukushima_kenbi



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

A R T I N F O R M A T I O N

福島県立美術館 ニュース

企画展示

「Gallery F 2019 コレクション再発見」
2019年2月9日[土]—3月10日[日]

Gallery F 2019 コレクション再発見

2019年2月9日[土]～3月10日[日]

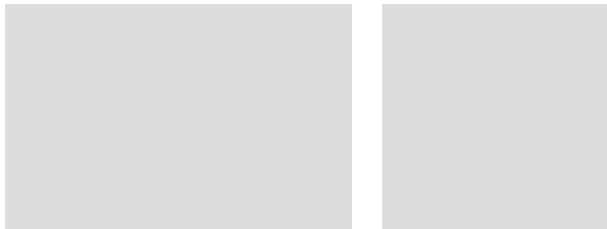
ギャラリーFは小さな展覧会です。

3回目となる今回は、日本画と、アートカードを使ったコレクション再発見の試みです。

【福陽美術会100年】

1919(大正8)年4月、福島県出身の日本画家が東京で結成した美術団体、これが福陽美術会です。同郷の仲間とともに研鑽を積み、展覧会を行う団体として注目されました。本展では、結成100年を記念し、当館コレクションにより、その活動を振り返ります。

おもな作家・勝田蕉琴、荻生天泉、坂内青嵐、太田秋民、湯田玉水、酒井三良、角田磐谷、酒井白澄、須田珙中、木下春、猪巻清明、大平華泉、石川良風、大山忠作 など



- ・担当学芸員によるギャラリートーク (約50分)
2月10日(日) 14時～
- ・ギャラリー対談
「東北の日本画家群像—秋田と福島を中心に—」
3月2日(土) 14時～15時30分 企画展示室にて (聴講無料)
講師：山本丈志氏 (秋田県文化振興課学芸員)、
堀 宜雄 (当館専門学芸員)

休館日●毎週月曜日(2月11日は開館)、2月12日(火)
観覧料●無料

主催：被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会
平成30年度地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

【アートカード★チャレンジ】

「アートカード」は、当館所蔵作品の画像をカード形式にした鑑賞補助教材です。アートカードの様々なあそびを通して、多くの子ども達が美術作品に関心を深めていくことを願い、2017年度から教育機関への貸出をはじめました。

本展では、このアートカードを使って、福島県立福島東高等学校の生徒たちが考えた小さな展覧会を、実際に当館の所蔵作品を展示して再現します。あわせて、生徒がテーマを元に作品を選び、展覧会が完成していくまでの活動の様子などをパネルで紹介いたします。



- ・福島東高校生徒によるギャラリートーク
2月24日(日) 14時～ 企画展示室にて (聴講無料)

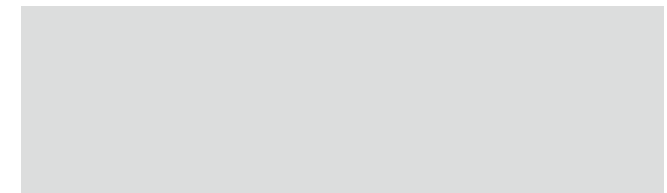
東日本大震災復興祈念 伊藤若冲展

2019年3月26日[火]～5月6日[月・祝]

伊藤若冲(1716-1800)は、江戸中期、京都に生まれた画家です。緻密な線描と極彩色の作品を手がける一方、伸びやかで自由な筆遣いとユーモラスな表現が特徴的な水墨画を数多く残しました。若冲作品の魅力は、なんといっても、動物でも植物でも生きものたちに等しく向けられた画家の眼差しが捉えた、生命の輝きに他なりません。作品を目の前にした人は、そこに命あるものの力強い生きる力を感じ取ることができるでしょう。

本展では、そうした若冲芸術の魅力を堪能していただくとともに、晩年、天明の大火(1788年)で焼け野原になった故郷・京都を目のあたりにした若冲の、復興に寄せた気持ち、芸術に託した想いも紹介したいと考えています。また、アメリカのデンバー美術館、ミネアポリス美術館などのご協力をいただき、海外の人たちが愛した故に日本を離れることになった作品もご覧いただけます。

2013年、福島県立美術館では、プライスご夫妻の多大なご協力のもとに「若冲がきてくれました」展を開催し、深い感動を与えました。本展は、前回とは異なった視点から再び若冲芸術を見直すことで、あらためてその魅力を伝え、感動と喜びを通して心の安らぎとともに生命のエネルギーを感じていただき、東日本大震災からの復興祈念とするものです。



主催●東日本大震災復興祈念「伊藤若冲展」実行委員会
(構成：福島県、福島県教育委員会、福島県立美術館、福島民友新聞社、福島中央テレビ)
企画監修●狩野博幸氏(京都国立博物館名誉館員、元同志社大学文化情報学部教授、近世日本美術史家)

休館日●毎週月曜日(4月29日、5月6日は開館)
観覧料●[当日券] 一般1,500円、大学生1,100円 *高校生以下無料
[前売券(2019年1月～販売予定)] 一般1,300円、大学生900円